



国際子ども図書館 学校図書館セット貸出し オセアニア・南極・北極セット 中学校向 資料解題

この冊子は、学校図書館セット貸出しに含まれる本の解説です。
本の紹介、展示の作成や、学校図書館での選書などにご利用下さい。

No	書名	出版社	出版年	請求記号	関連国・地域
1	みんなの世界遺産. 7 北アメリカ・南アメリカ・オセアニア	岩崎書店	2000	YU81-155	—
2	日本とのつながりで見えるアジア過去・現在・未来 7 オセアニア	岩崎書店	2003	Y2-N03-H70	—
3	クックの航海	評論社	1981	Y17-7522	—
4	オーストラリア・ニュージーランドの歴史Q&A	大月書店	2009	GJ61-J8	—
5	オセアニア：海の人類大移動	昭和堂	2007	GJ51-H3	—
6	世界の地理 図説大百科 23 オセアニア・南極	朝倉書店	2010	GA91-J60	—
7	国別大図解世界の地理 6 アフリカ・オセアニアの国	学研教育出版	2010	Y2-N10-J68	—
8	南極・北極 (Insiders)	昭文社	2009	M85-J7	南極・北極
9	ジス・イズ・オーストラリア	ブルース・インターアクションズ	2006	Y2-N07-H4	オーストラリア
10	オーストラリア(ナショナルジオグラフィック世界の国)	ほるぷ出版	2008	Y2-N09-J24	オーストラリア
11	オーストラリア(体験取材!世界の国ぐに 8)	ポプラ社	2006	Y2-N06-H46	オーストラリア
12	オーストラリアの中学生	学習研究社	2003	Y5-N04-H50	オーストラリア
13	ニュージーランド(ナショナルジオグラフィック世界の国)	ほるぷ出版	2010	Y2-N10-J324	ニュージーランド
14	ニュージーランド(体験取材!世界の国ぐに 9)	ポプラ社	2006	Y2-N06-H47	ニュージーランド
15	ニュージーランドの中学生	学習研究社	2006	Y5-N06-H75	ニュージーランド
16	元気が出る!世界の朝ごはん 4(オセアニアと南アメリカ)	日本図書センター	2007	Y2-N07-H114	—
17	ミクロネシア連邦(体験取材!世界の国ぐに 10)	ポプラ社	2006	Y2-N06-H48	太平洋
18	楽園に降った死の灰：マーシャル諸島共和国	新日本出版社	2009	Y1-N09-J172	マーシャル諸島
19	アホウトリの糞でできた国：ナウル共和国物語	アスペクト	2005	GJ111-H10	ナウル
20	ツバル：海拔1メートルの島国、その自然と暮らし	国土社	2004	GJ136-H1	ツバル
21	アボリジニ(写真で知る世界の少数民族・先住民族)	汐文社	2008	Y2-N08-J44	オーストラリア
22	隣のアボリジニ：小さな町に暮らす先住民	筑摩書房	2010	G171-J3	オーストラリア
23	マオリ(写真で知る世界の少数民族・先住民族)	汐文社	2008	Y2-N08-J90	ニュージーランド
24	クジラの島の少女	角川書店	2003	KS159-H4	ニュージーランド
25	ブタとサツマイモ：自然のなかに生きるしくみ	小峰書店	2007	Y2-N08-J6	バブアニューギニア
26	南極：国境のない大陸	朝日新聞社	2005	GJ151-H10	南極
27	世界一空が美しい大陸南極の図鑑	草思社	2010	M85-J11	南極
28	オーストラリアケアンズ生き物図鑑	文一総合出版	2008	RA485-J1	オーストラリア
29	オールド・ブルー：世界に1羽の母鳥	さ・え・ら書房	1999	Y11-N00-12	ニュージーランド
30	オセアニアの鉄道	旺文社	2007	Y1-N07-H150	—
31	やまとゆきはら：大和雪原：白瀬南極探検隊	福音館書店	2002	Y2-N02-122	南極
32	ポリネシア・メラネシアのむかし話	偕成社	2000	Y9-N04-H356	—
33	Herbert: the brave sea dog(英語)	Molly Paul Books	2008	Y17-B12039	ニュージーランド
34	Imagine(英語)(どうぶつがいっぱい!)	Allen & Unwin	2007	Y17-B9184	オーストラリア
35	どうぶつがいっぱい!	河合楽器製作所・出版事業部	1995	Y18-10515	オーストラリア
36	Kiwi moon(英語)	Random House New Zealand	2008	Y17-B10516	ニュージーランド
37	My brown bear Barney(英語)(わたしのバーニーいつもいっしょ)	Reed Children's Books	1994	Y17-B9054	ニュージーランド
38	わたしのバーニーいつもいっしょ	のら書店	1997	Y18-12841	ニュージーランド
39	Bush babies(英語)	Lothian	2003	Y17-B12904	オーストラリア
40	Lizzie nonsense(英語)(ゆめみるリジー)	Little Hare	2004	Y17-B11232	オーストラリア
41	ゆめみるリジー	アールアイシー出版	2007	Y18-N08-J76	オーストラリア
42	Possum and wattle(英語)	Little Hare	2008	Y17-B12036	オーストラリア
43	The shack that Dad built(英語)	Little Hare	2004	Y17-B4222	オーストラリア
44	Snake and Lizard(英語)(ヘビとトカゲきょうからともたち)	Gecko Press	2007	Y8-B8454	ニュージーランド
45	ヘビとトカゲきょうからともたち	アリス館	2011	Y9-N11-J182	ニュージーランド



総合学習に役立つみんなの世界遺産 7 北アメリカ・南アメリカ・オセアニア

城戸一夫 監修；倉部きよたか 著

岩崎書店 2000年

オセアニア等の世界遺産をカラー写真で紹介する本。日本列島がすっぽり入る世界最大のサンゴ礁グレート・バリア・リーフは、美しい海が印象的。トンガリロ国立公園はマオリ族の独特の世界を見せる。世界遺産ごとの解説のほか、参考図書や関連文献が掲載されている。見返しに世界遺産の場所を示した地図と巻末に国別の世界遺産リスト付。

オセアニア（日本とのつながりで見るとアジア過去・現在・未来；第7巻）

石出法太 著

岩崎書店 2003年

最初にオセアニア地域全体について解説し、続いてオーストラリア、キリバス、サモア、ソロモン諸島、ツバル、トンガなどオセアニアの14の国の歴史と現状について解説する。文化、貿易、歴史などであまり知られていない日本とのつながりを重視した記述となっているため、日本とこれらの国々との関わりがわかりやすい。巻末に各国のデータと索引付。

クックの航海

ピエロ・ベントゥーラ 絵；ジアン・パオロ・チェゼラーニ 文；吉田悟郎 訳

評論社 1981年

「キャプテン・クック」として知られる、18世紀のイギリス人探検家クックの3度にわたる南半球航海記の大判絵本。最初の航海は、タヒチ島で金星を観測するのが目的だったが、これは表向きの理由で、イギリスは未知の大陸発見を期待していた。3度の航海で新大陸は見つかったのか。最初に航海したエンデヴァ号の断面図やオーストラリアの動物、マオリの船などを緻密な絵で紹介する。見返しに航路図あり。

これならわかるオーストラリア・ニュージーランドの歴史 Q&A

石出法太，石出みどり 著

大月書店 2009年

両国をQ&A形式で紹介する本。高校教師である著者の質問は、歴史にとどまらず、国名の由来や日本との関係、スポーツ、映画と幅広く、答えには解説がつく。「体長3mの鳥は存在したか」など2択問題も多いので、この本を参考にクイズをすると両国への関心が深まるだろう。参考文献と見返しに地図、略年表付。

オセアニア：海の人類大移動

印東道子，飯田卓 責任編集；国立民族学博物館 編

昭和堂 2007年

国立民族学博物館が2007年に開催した「オセアニア大航海展」の解説書。星や太陽、波など自然を利用した伝統的な航海術や人類のアジアからのオセアニアへの移住、現代の人々の暮らしと移動などを紹介する。専門的な内容だが、木を削りカヌーを作っている様子や各種の船、装飾品などの写真からオセアニアの文化に触れて欲しい。

世界の地理：図説大百科 23 オセアニア・南極

田辺裕 監修

朝倉書店 2010年

多彩な専門家たちによる分担執筆の本。索引、用語解説付きで調べ学習にも向く。内容は、オセアニアの全ての国の情報や、南極を含む地域の自然環境、産業、民族文化、政治問題など多岐にわたり、写真や図版も多い。太平洋の多数の島名も載っている。

アフリカ・オセアニアの国々（国別大図解世界の地理.6）

井田仁康 監修

学研教育出版 2010年

オセアニアの国々について、首都、人口などの基本データとともに自然や産業などの概要をカラー写真や図を用いて、簡潔に紹介する。オーストラリア、ニュージーランド、パプアニューギニア、ツバルとフィジー諸島を掲載。巻頭に地図と基本データ一覧があり、各国を比較できる。

南極・北極（Insiders）

ロザリン・ウェイド 著；河島美季 訳

昭文社 2009年

南極・北極の環境と、極地に生きる動物たちの生態を知ることができる図鑑。命がけの極地探検の歴史や極地に迫る環境破壊も描く。水面下の氷山やシロイルカの頭部の内面など精緻で大判の迫力あるイラストは、興味を引く。動物の大きさを10歳の少年と比較し、例えを使って説明するなど、子どもを意識した構成である。専門用語解説や索引付。

ジス・イズ・オーストラリア

ミロスラフ・サセック 著；松浦弥太郎 訳

ブルース・インターアクションズ 2006年

世界の都市を旅して描いた「ジス・イズ」シリーズの1冊。大都市シドニーから最北に位置する開拓民の街ダーウィンまで、オーストラリアの街々を案内。シドニーのオペラハウスといった有名な建物はもちろん、カンガルー注意の看板など街の様子をしゃれた絵で紹介し、各地を実際に旅している気分になる。原書は1970年刊行だが、巻末で現在の情報が補われている。

オーストラリア（ナショナルジオグラフィック世界の国）

ケイト・ターナー 著；エレイン・ストラットフォード、ジョセフ・M.パウエル 監修

ほるぷ出版 2008年

オーストラリアに関する主要なテーマを取り上げ、コンパクトに解説する。写真や地図が効果的に使われ、文章も分かりやすい。生きた化石「カモノハシ」といったオーストラリア固有の生物や地理、自然の説明はもちろん、イギリスの流刑植民地として出発した国の歴史、現在の文化や政治も紹介されている。巻末にミニ情報や年表、用語解説、索引付。

オーストラリア（体験取材！世界の国ぐに8）

吉田忠正 文・写真；藤川隆男 監修

ポプラ社 2006年

オーストラリアをあらゆる角度から紹介する。広い敷地の住居、週末のバーベキュー、マリンスポーツ、働く人々、交通、学校、多民族・多文化、先住民アボリジニの生活等が豊富な写真と共にまとめられ読みやすい。レポートの項では「60万人が参加するゴミ拾い運動」など、現地情報を届ける。巻末に国の歴史と日本との交流、基本データ、索引付。

オーストラリアの中学生（世界の中学生5）

森住衛 監修

学習研究社 2006年

オーストラリアの中学生の日常や学校生活を紹介し、5人の中学生が自分の考えや夢を語る。オーストラリアは、多民族多文化国家で、子どもの頃から平等と公正を学び、大自然の中でゆったりと暮らす。教育制度は州によって違い、指定の教科書はない。国際交流や留学も盛んで日本と馴染みがある。巻末にはオージー・イングリッシュを紹介する。

ニュージーランド (ナショナルジオグラフィック世界の国)

バーバラ・ジャクソン 著；ヴォーン・ウッド，サイモン・ミルン 監修

ほるぷ出版 2010年

ニュージーランドを地理・自然・歴史・文化・政治・経済という視点から写真やイラストを使い解説する。本文ではラグビーが人気で選手はマオリ人も多いとスポーツの話題を挙げ、コラムでは映画「ロード・オブ・ザ・リング」のロケ地となったことを紹介し、他にもテーマ別地図を付すなど、生徒の興味を引くように工夫されている。ミニ情報や年表・索引付。

ニュージーランド (体験取材！世界の国ぐに 9)

岡崎務 文・写真

ポプラ社 2006年

ニュージーランドの国と生活をわかりやすくまとめた本。火山や氷河が広がる雄大な自然、マオリの文化、羊や牛と大地の恵みを受けた産業、スポーツ、都会と地方の暮らしなど、豊富な写真とともに紹介する。読書教育が盛んで、学校によっては、校長先生が指導する読書の時間がある。国の歴史や日本との交流史も掲載。巻末にデータ・索引付。

ニュージーランドの中学生 (世界の中学生 13)

森住衛 監修

学習研究社 2006年

ニュージーランドに住む中学生の学校生活や教育制度を紹介する。学校ではフンド・レイジングといって、生徒が中心となってイベントを企画し募金活動をする。また、マオリ民族の学校があり、マオリ伝統の歌やおどりを習う。本の後半では、6人の中学生が日常を紹介し、将来の夢や考えを語る。巻末ではキーウィ・イングリッシュやマオリ語を紹介する。

元気が出る！世界の朝ごはん 4 (オセアニアと南アメリカ)

服部幸應，服部津貴子 監修

日本図書センター 2007年

朝ごはんを通じて世界の食文化と朝食の大切さを紹介するシリーズの4巻目。オーストラリア定番の朝食は「トーストにベジマイト」で、野菜エキスを発酵させたベジマイトをパンに塗って食べる。ニュージーランドからは野菜のキッシュ、サモアからはカカオポリッジが紹介されている。作り方も載っているので挑戦してほしい。シリーズの総索引付。

ミクロネシア連邦 (体験取材！世界の国ぐに 10)

岡崎務 文・写真；在日ミクロネシア連邦大使館 監修

ポプラ社 2006年

太平洋に浮かぶ600以上の島々、ミクロネシア連邦を豊富な写真で伝える。4つの州が一緒になった連邦国で州ごとに言葉や文化が違う。各州とも小学校は8年間の義務教育で、共通語として英語を学ぶ。パンノキの実で作るモチとドーナツが並ぶ店頭、石のお金(石貨)とアメリカドル紙幣、伝統農業によるタロイモ・ヤムイモの栽培と、農薬や人口肥料を使うナスの栽培など、この国では伝統と現代が交差している。巻末に歴史と基本データ、索引付。

楽園に降った死の灰：マーシャル諸島共和国 (シリーズ核汚染の地球. 1)

森住卓 文・写真

新日本出版社 2009年

太平洋の島国マーシャル諸島は、1954年にアメリカが行ったビキニ環礁での水爆実験により、放射能を含んだ砂や埃「死の灰」を浴びた。この本では、島の美しい自然と日常生活の様子を伝える写真とともに、半世紀以上たった今でも多くの島民を苦しめる放射能汚染について分かりやすく説明する。見返しに地図付。

アホウドリの糞でできた国：ナウル共和国物語

古田靖 文；寄藤文平 絵
アスペクト 2005年

太平洋に浮かぶナウルは、サンゴ礁に集まったアホウドリの糞が堆積してできた島国である。糞は、長い時間をかけてリン鉱石に変化する。そのリン鉱石の産出で「世界で最も豊かな国」といわれたナウルは、資源が枯渇し、銀行経営も失敗し、財政は破綻した。働き方を忘れた人々は、「普通」の生活を模索している。ルビ入りの軽妙な文と漫画風のイラストで綴られ、子どもにも読みやすい。中ほどでは写真で見所も紹介する。

ツバル：海拔1メートルの島国、その自然と暮らし：写真絵本

遠藤秀一 写真・文
国土社 2004年

海と深く関わるツバルの人の日常生活を美しい写真とともに紹介する写真絵本。著者は南の島国をフィールドとする写真家。「朝」「食糧」など項目を7つ立て、「被害」の項では、地球温暖化による海面上昇による被害の写真を載せる。巻末の「ツバルを通して僕らの未来を考えよう」では、地球温暖化を地球全体の問題として考察する。観光案内、データ、歴史年表付。

アボリジニ（写真で知る世界の少数民族・先住民族）

ダイアナ・マルシェル 著；藤村奈緒美 訳
汐文社 2008年

アボリジニとは、オーストラリアに5万年前から住んでいた民族である。彼らは、ブーメランで狩りをし、大地は祖先の精霊と繋がり、自分たちを自然の一部と考えている。この本では、先住民の中で伝統的な生活をする人々の生活を写真とわかりやすい言葉で説明する。

隣のアボリジニ：小さな町に暮らす先住民

上橋菜穂子 著
筑摩書房 2000年

ファンタジー小説『精霊の守り人』の著者であり、文化人類学者の上橋菜穂子氏が、アボリジニ（オーストラリアの先住民）と向かいあった10年間をまとめた本。彼らの中には、伝統的な生活を続ける人々もいるが、アボリジニ内の人間関係や複雑な決め事にとらわれながらも町で暮らす「隣の」アボリジニもいる。個人のアボリジニを知ること、現代のオーストラリア社会の課題もみえてくる。

マオリ（写真で知る世界の少数民族・先住民族）

レスリー・シュトゥラドヴィク 著；斉藤慎子 訳
汐文社 2008年

マオリ族とはニュージーランドの先住民族である。彼らのマナ（威信）やタブ（英語のタブー）等の社会の掟をわかりやすく説明し、ハカ（おどり）や彫刻や民族衣装等の文化も紹介する。マオリ文化を守るための取り組みや現在の問題点にも触れる。彼らは「ほろびゆく民族」と呼ばれたが、1987年にマオリ語が英語とともにニュージーランドの公用語になった。

クジラの島の少女

ウィティ・イヒマエラ 著；澤田真一、サワダ・ハンナジョイ 訳
角川書店 2003年

ニュージーランド初のマオリ族の作家による創作物語。マオリの伝説を受け継ぐ者は男と決められ、首長は勇者の血を継ぐ少女カフには冷たい。しかし、クジラの大群が押し寄せる危機に少女は唯一人で立ち向う。本文ではアロハ（愛情）、トフ（しるし）等、文中にマオリ語が表記され、マオリの風習や社会のしくみとともにマオリの世界観が伝わる。

ブタとサツマイモ：自然のなかに生きるしくみ

梅崎昌裕 著

小峰書店 2007年

体力自慢の人類生態学の研究者が、南太平洋の国パプアニューギニアで自給自足する人々を訪ねた記録を児童向けに書いた読み物。人々はブタを使って交渉し、何種類ものサツマイモを栽培する。一見、文明社会から見ると非合理的なことも、相手の社会を理解するにつれ合理性が見えてくる。「相手を理解できないときは、自分に感受性がない。」と説く著者の言葉は、多文化理解の原点を考えさせる。

南極：国境のない大陸

武田剛 著

朝日新聞社 2005年

南極観測隊に同行した新聞カメラマンが書いた記録集。新聞記者らしい切り口で多くの写真が掲載され、中でもオーロラや愛らしいペンギンの写真は印象に残る。昭和基地内の機器整備や食事の写真からは隊員の暮らしが伝わる。最後に見開きで隊員のスナップ写真があり、多くの職業人によって、「国境のない大陸」の観測が続けられていることがわかる。

世界一空が美しい大陸南極の図鑑

武田康男 文・写真

草思社 2010年

高校教諭で気象予報士でもある著者が、2008～10年の日本南極地域観測隊赴任中に撮影した写真で、南極の空と地表について解説する。第一部はオーロラ、彩雲など空の現象、第二部は霜の花、青い氷山など地表の現象である。美しい写真では不思議な現象に思われることも、科学的な説明を用い原理を種明かしする。「南極での写真撮影の苦労」等のコラムも面白い。参考文献付。

オーストラリアケアンズ生き物図鑑

松井淳 著

文一総合出版 2008年

オーストラリア北東部ケアンズで動物観察ツアーガイド歴10年の著者が書いた生き物の図鑑。ケアンズには、世界最古の熱帯雨林とグレートバリアリーフがある。昆虫、は虫類、両生類、鳥類、哺乳類の順で構成。鳴き声や日本の生物との比較、雄雌の見分け方も解説されており、実際に現地を観察したくなる。参考文献、用語集、英名・和名索引付。

オールド・ブルー：世界に1羽の母鳥

メアリ・テイラー 作；百々佑利子 訳

さ・え・ら書房 1999年

ニュージーランド本島から東に1000キロのチャタム諸島に、世界でここだけに生息する黒い小鳥ブラックロビンがいた。この絵本は、絶滅の危機にさらされ、ブルーと名づけられたブラックロビンの母鳥とひなを救うために力を尽くした人々の記録である。絵は緻密で、落ち着いた色彩が美しい。1970年代にブルーを含め7羽しかいなかったロビンは、100羽まで増えた。

オセアニアの鉄道：オーストラリアの鉄道ニュージーランドの鉄道

秋山芳弘 著；こどもくらぶ 編

旺文社 2007年

鉄道を通じてその国を知るシリーズの一冊。鉄道は、その土地の自然や社会、文化に密接に結びつく。オーストラリア大陸の南北1,559kmを19時間かけて縦断する長距離旅客列車「ザ・ガン」の体験記を読むと実際に乗車している気分になる。ニュージーランドの長距離旅客列車では、海岸や峡谷、

断崖絶壁など大自然の風景が楽しめる。鉄道関係の用語解説・索引付。

やまとゆきはら：大和雪原：白瀬南極探検隊

関屋敏隆 さく

福音館書店 2002年

百年前の明治時代に南極観測船「開南丸^{かいなんまる}」で出発した白瀬のぶ等南極探検隊の足跡を描いた絵本。29頭の犬が半年の航海で1頭になったことや、厳寒の南極大陸を犬ぞりで進む様子など、当時の航海と南極観測の壮絶さが表れている。布地版画で描かれた輪郭のはっきりした絵は、力強く大和雪原を描き出す。帰国後の白瀬や隊員らの様子も紹介されている。あとがきと解説、参考文献もあり。

ポリネシア・メラネシアのむかし話：海の少女ヒナほか

ダイクストラ好子 編訳

偕成社 2000年

西太平洋のポリネシアの島々とオーストラリア北東のメラネシアの島々に伝わる16編のお話を収めた昔話集。島なので海にまつわる話が多い。また、食べ物や風習の描写からは、南の島の生活や道徳などが読み取れる。現在のソロモン諸島の『海の始まり』は現地の言葉を使った描写もあり、3分ほどの短い話なので、授業の導入に使うこともできる。

Herbert : the brave sea dog (英語)

ハーバート：勇敢な海の犬*

Robyn Belton.

Molly Paul Books 2008年

この絵本は、事実を元に作られている。小さな犬ハーバートは、飼い主の男の子ティムの父親と一緒に船に乗ったが、途中で嵐に遭い、ハーバートは船から落ちた。翌日、ティムは父親に頼み、漁師と共にハーバートを探し出す。嵐の海を泳ぎ続けたハーバートは、勇敢な犬としてメダルを受賞した。ラジオでこの話が流れると、ニュージーランド中で話題になった。表紙裏には、ティムや全国から感動の手紙の写真が掲載されている。

*タイトルは参考訳です。

Imagine (英語)

Alison Lester

Allen & Unwin 2007年

どうぶつがいっぱい!

アリソン・レスター 作；岡部史 訳

河合楽器製作所・出版事業部 1995年

「もしここがジャングルだったら」と想像すると、次ページにジャングルとそこに住む動物が描かれている楽しい絵本。200種類以上の動物が細かく描かれており、余白に描かれた動物の名前が出ていたので、探すのも楽しい。森のページでは、オセアニアの動物が登場する。作者は、オーストラリア南東部の農場で生まれ、動物に囲まれて育つ。25冊もの絵本を出版し、本書をはじめ、各国語に訳され世界中で読まれている。

Kiwi moon (英語)

キウィ・ムーン*

Gavin Bishop.

Random House New Zealand 2008年

月をお母さんだと思った白いキウィの子は、山火事の時に月に助けられ空へ行く。月が疲れたときに代わりに満月(Kiwi moon)になった。白いキウィと月の幻想的な絵の一部に、入植当時のニュージーランドの先住民の暮らしや入植者との戦いも描かれている。2006年にラッセル・クラーク賞(ニ

ュージーランドの絵本賞)を受賞。

*タイトルは参考訳です。

My brown bear Barney

Dorothy Butler ,illustrated by Elizabeth Fuller.

Reed Children's Books 1994年

わたしのバーニーいつもいっしょ

ドロシー・バトラー さく ; エリザベス・フラー え ; ももゆりこ やく

のら書店 1997年

クマのぬいぐるみのバーニーといつも一緒にいる小さな女の子の日常が描かれる。ぬいぐるみの質感まで伝わる温かみのある絵からは、ニュージーランドの一般家庭の様子もわかる。作者のドロシー・バトラーは、ニュージーランドの児童文学者。児童書専門店を開き、母親を対象とした読書教育を行う。重度障害をもつ孫娘と絵本の関わりを書いた『クシュラの奇跡』は、エリナー・ファージョン賞(1980年度)を受賞。

Bush Babies (英語)

ブッシュ・ベイビーズ*

Kim Dale

Thomas C. Lothian Pty Ltd 2003年

オーストラリアに住む野生動物の赤ちゃんを紹介した知識絵本。コアラやエミューなど、オーストラリア特有の動物 15 種類を取り上げる。各頁に動物をイメージした英語詩が付いている。精密な絵で、折り込みページになっているので、ヒントを出して、動物当てクイズをしても面白いだろう。巻末に、動物の説明付。2004年オーストラリア児童図書賞ノンフィクション部門ショートリスト選出。
*タイトルは参考訳です。

ゆめみるリジー

ジャン・オーメロッド 作・絵 ; はやかわゆか 訳

アールアイシー出版 2007年

Lizzie Nonsense (英語)

Jan Ormerod.

Little Hare 2004年

オーストラリア開拓時代の家族の生活を描いた創作絵本。森の奥の小さな家に住んでいる女の子リジーは、お父さんが仕事でいない間、お母さんと赤ちゃんの3人で暮らしている。夢見がちなリジーに、お母さんはあきれ顔。暖かみのある色彩で、森での生活をやさしく描く。2006年国際児童図書評議会オナーリスト作品。

Possum and wattle : my big book of Australian words (英語)

ポッサムとワトル : オーストラリアの言葉の本*

Bronwyn Bancroft

Little Hare 2008年

オーストラリア特有の動物や伝統的な道具など表す言葉を、先住民族(アボリジニ)の中でも聖地を守るバンジャラン族の画家の絵とともに紹介した絵本。言葉の多くは bat (コウモリ) など英語だが、boomerangs (ブーメラン) などアボリジニに由来する言葉も含まれている。黒いはっきりした輪郭と点や丸で描かれた色鮮やかな絵は力強く、全ての物に精霊が宿ると考えるアボリジニの文化を感じることができる。

*タイトルは参考訳です。

The Shack that Dad Built (英語)

父さんが建てたブリキ小屋*

Elaine Russell

Little Hare Books 2004年

1940年代半ば、アボリジニである著者エレインが5歳の時、彼女と家族は、アボリジニ定住区を避けて、シドニー近郊の浜辺ラペルーズへ引っ越した。父親は、浜辺の横にゴミ捨て場から拾ってきたブリキで小屋を作り、家族はそこで5年間を過ごした。色鮮やかな絵は、当時のオーストラリア西部に住むアボリジニたちの様子をよく伝える。

*タイトルは参考訳です。

Snake and Lizard (英語)

Joy Cowley, Gavin Bishop

Gecko Press 2007年

ヘビとトカゲきょうからともだち

ジョイ・カウリー 作；ガヴィン・ビショップ 絵；もりうちすみこ 訳

アリス館 2011年

おだやかな性格のヘビと元気一杯なトカゲが、ケンカをしながらも互いの違いを理解し、友情を育んでゆく物語。Joy Cowleyはニュージーランドの女性作家で、絵本も描く。登場人物の性格まで分かるような魅力的な挿絵も楽しい。一話一話は短いので英語での読み聞かせに挑戦してもよいだろう。2008年ニュージーランド・ポスト児童図書部門年間最優秀賞作品。

国立国会図書館 国際子ども図書館
児童サービス課 児童サービス企画係
URL : <http://www.kodomo.go.jp/>